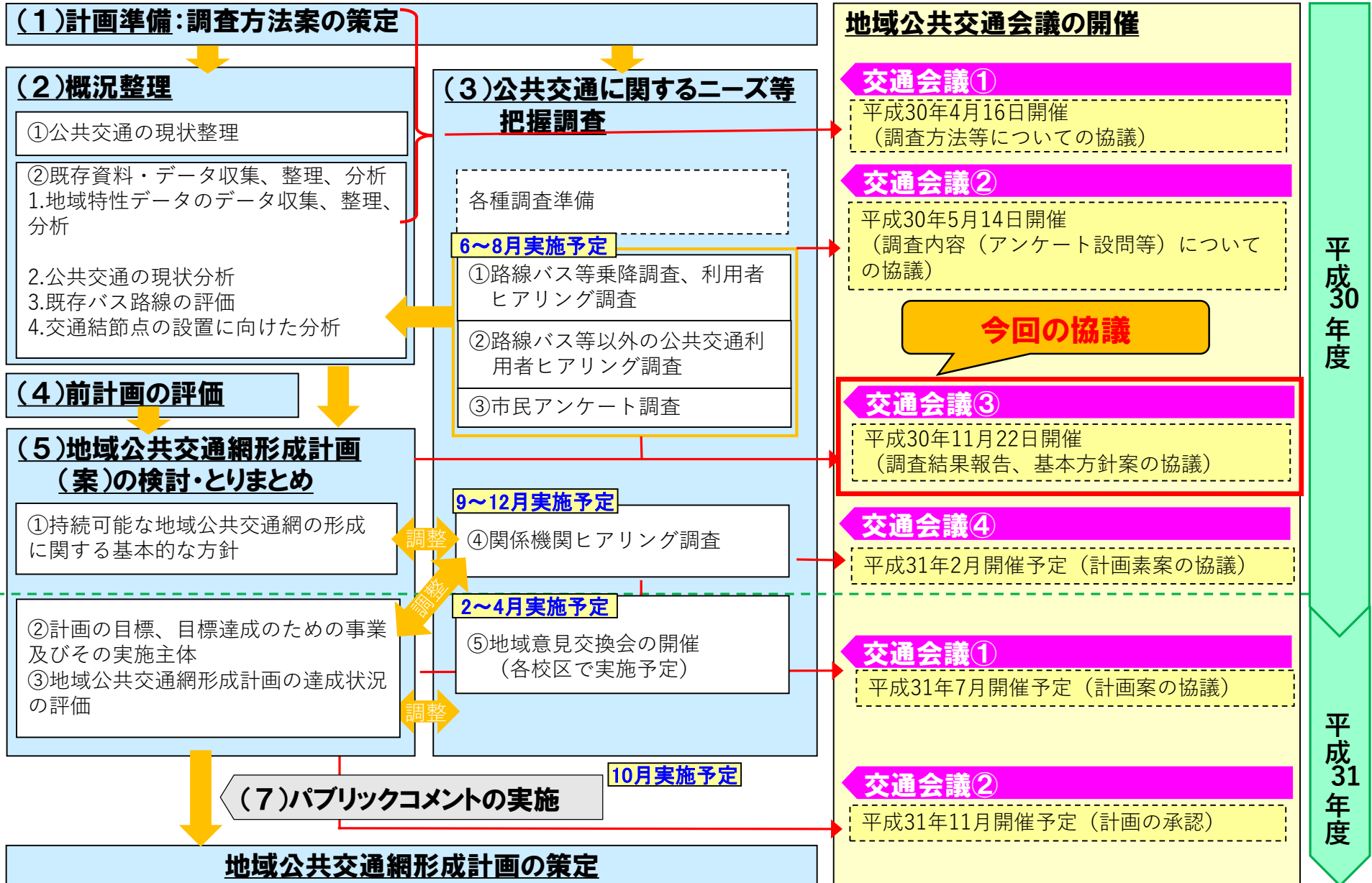


# 市民移動実態調査の結果報告

平成30年度第3回萩市地域公共交通会議

平成30年11月22日

# 事業実施のスケジュール(平成30年度～平成31年度)



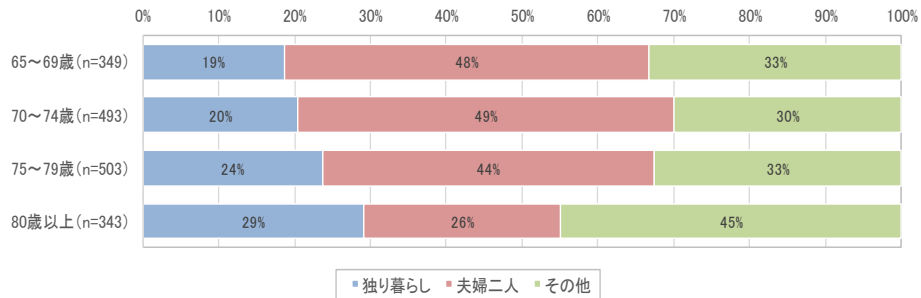
# 調査実施状況

- 公共交通に対する潜在的なニーズや、利用促進のための改善点などを把握するため、市民の移動実態や公共交通の利用実態に関する以下の調査を実施した。

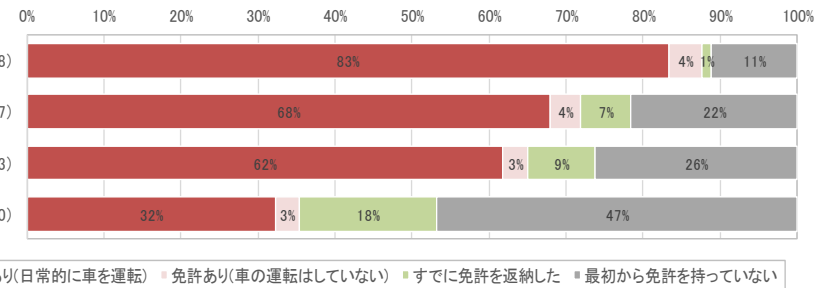
分類	調査項目	調査実施概要	実施状況
市民移動実態調査	住民アンケート調査 (65歳以上)	市内に居住する65歳以上の方を対象に移動実態を調査 2,000名を無作為抽出し、民生委員による配布・回収	7月～7月末まで実施 回収数：1,705票（85%）
	民生委員アンケート調査	市内各地区の交通弱者の状況、移動に関する課題を調査 民生委員に対し、直接配布・郵送回収	7月～7月末まで実施 回収数：145票（83%）
	高校生アンケート調査	萩市内及び周辺自治体の高校を対象に移動実態を調査 (萩市：萩高校、萩光塩学院高校、萩商工高校、長門市：長門高校、阿武町：萩高校奈古分校、益田市：益田高校、益田翔陽高校、明誠高校)	7月～8月末まで実施 回収数：888票（90%）
公共交通利用実態調査	路線バス乗込み調査	防長交通、中国JRバス、石見交通、萩市（まあーるバス）の運行する市内全路線全便に乗り込み、利用実態を調査	防長交通：7月7日～15日に実施 中国JRバス：7月13日、14日に実施 石見交通：8月29日、9月9日に実施 まあーるバス：7月7日、11日に実施 平日：1,299人/日、休日：1,959人/日
	ぐるっとバス利用状況調査 (小原地区デマンドタクシーも含む)	萩、旭、川上、福栄、むつみ、須佐、田万川の7地域において様々な運行形態が存在する（定時定路線、デマンド、複合型） 運行形態に合わせて調査を実施（運転手による乗降記録、予約者名簿の集計） ぐるっとバスの運行主体へのヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転手による乗降記録(9月)</li> <li>・総合事務所提供資料より、利用状況の整理</li> <li>・運行主体へのヒアリング（9月）</li> </ul>
	JR調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内9駅（飯井、三見、玉江、萩、東萩、越ヶ浜、長門大井、須佐、江崎）で返信用封筒付きのアンケート票を直接配布、郵送による回収を実施</li> <li>・高齢者や待機されている方には聞き取り調査を実施</li> <li>・全便の乗降者数のカウント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月9日、9月10日に実施</li> <li>・508人から聞き取り</li> <li>・50人からの返信</li> <li>・平日 1,081乗降者数/日 休日 548乗降者数/日</li> </ul>
	フェリー調査	相島、見島、大島の3航路で乗込み、利用実態を調査	8月27日、8月28日に実施 443票/日

# (1)住民アンケート調査(65歳以上)

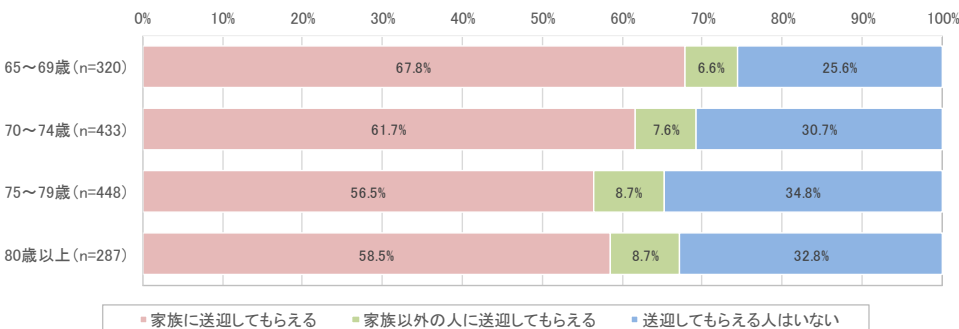
- 家族構成は、「独り暮らし」が2～3割であり、年齢が上がるにつれてその割合は高くなる。
- 運転免許保有率は、80歳以上になると大きく低下して、6割以上が非保有者となる。
- 送迎してもらえる人の有無について、「送迎をしてもらえない人はいない」は3割を占めており、年齢が上がるにつれて増加傾向にある。
- また、自分での運転が少なくなるに連れて、公共交通で移動をする方が増える傾向にある。
- →このような高齢の移動弱者の方々の移動手段を確保して、生活を支える必要がある。



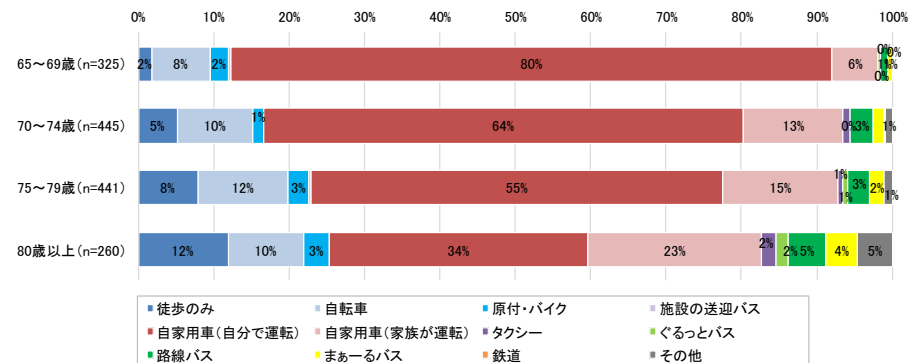
家族構成



運転免許証の保有状況



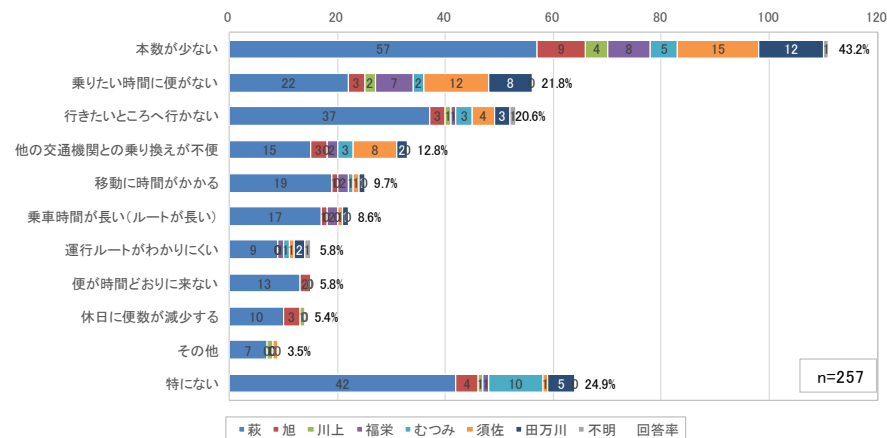
送迎してもらえる人の有無



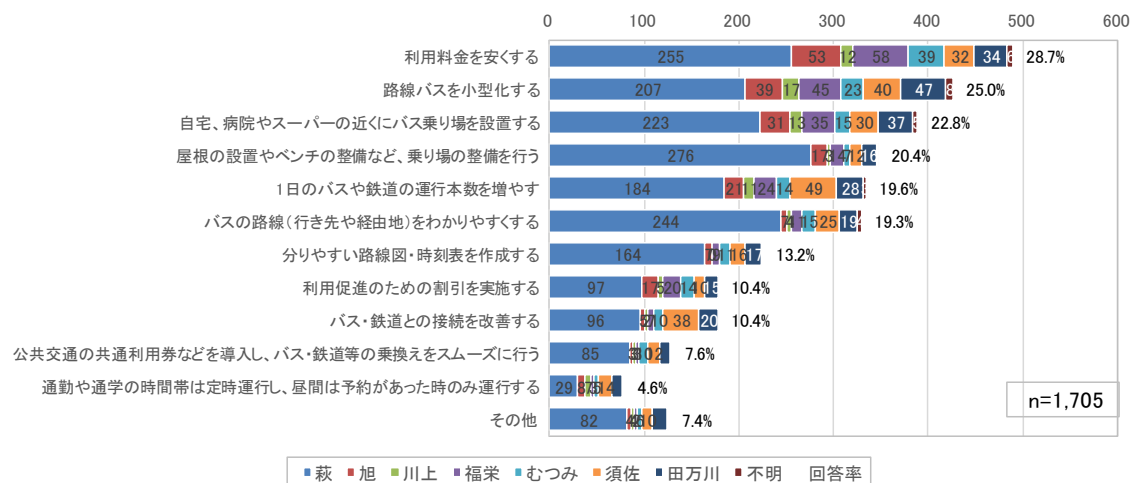
買い物での交通手段

# (1)住民アンケート調査(65歳以上)

- 公共交通の不満点は、「本数が少ない」「乗りたい時間に便がない」「行きたいところへ行かない」といった意見が多い。
- 公共交通の改善要望は、「利用料金を安くする」「路線バスを小型化する」「自宅、病院やスーパーの近くにバス乗り場を設置する」といった意見が多い。



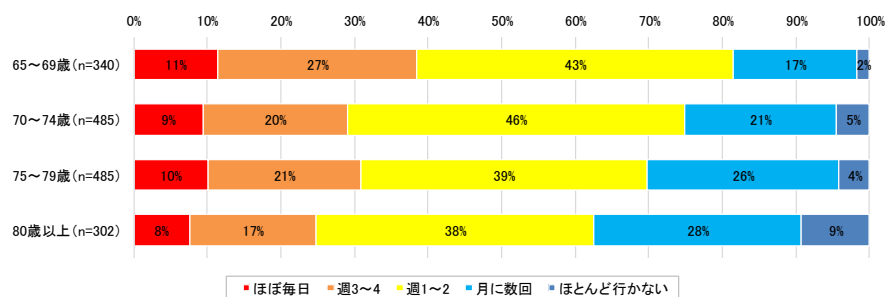
## 公共交通の運行ダイヤ・ルートについてご不満な点



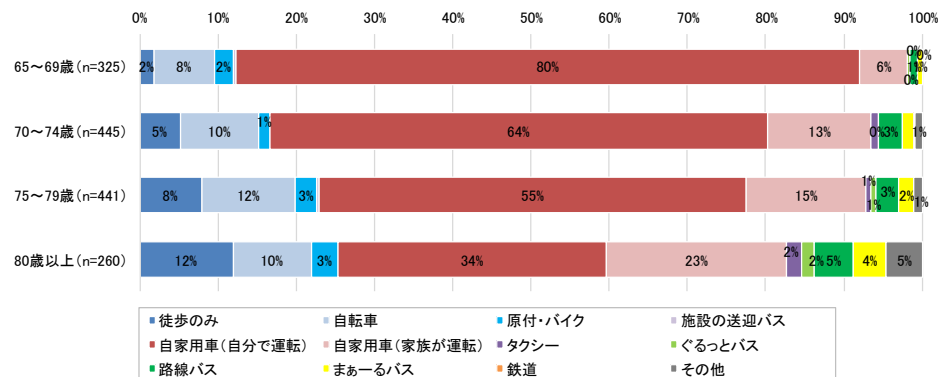
## 公共交通の改善要望

# (1) 住民アンケート調査(65歳以上)

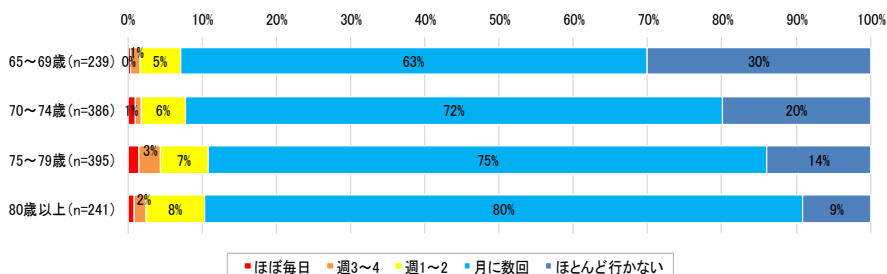
- 高齢者の生活行動について、買い物での移動頻度が多く、「週3~4」が約2割、「週1~2」が約4割である。
- 年齢が上がるにつれて、買い物での外出頻度が下がる。
- 年齢が上がるにつれて、運転頻度が下がり、公共交通での移動の割合が高まる。
- 80歳以上の方の通院では、タクシーでの移動が7%存在している。



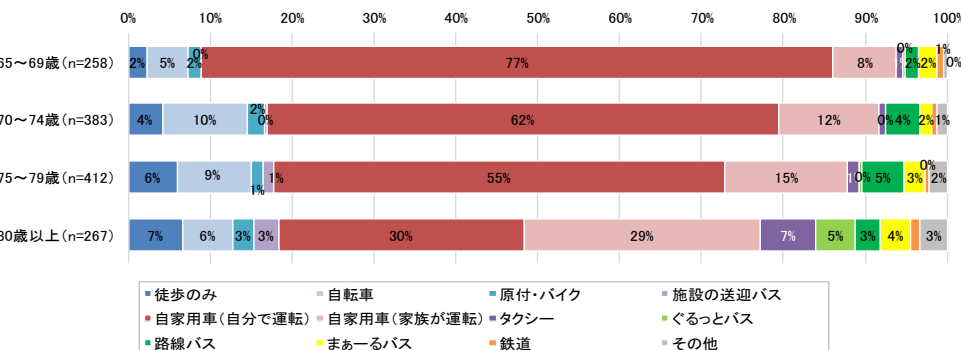
買い物での外出頻度



買い物での交通手段



通院での外出頻度



通院での交通手段

# (1)住民アンケート調査(65歳以上)

- 高齢者の買い物や通院の目的地は、地域毎に異なっており、これらに対応した公共交通網の維持・確保が重要である。
- 川上・福栄地域は、萩地域への交通手段の維持・確保が重要となる。
- 旭・むつみ地域は、萩地域や山口市への交通手段の維持・確保が重要となる。
- 須佐、田万川地域は、域内や益田市への交通手段の維持・確保が重要となる。



		居住地域							合計 n=2552
		萩 n=1600	旭 n=151	川上 n=62	福栄 n=157	むつみ n=133	須佐 n=224	田万川 n=225	
買物施設	萩	97%	60%	94%	81%	59%	8%	4%	75%
	旭	0%	15%	0%	0%	0%	0%	0%	1%
	川上	0%	0%	5%	0%	0%	0%	0%	0%
	福栄	0%	0%	0%	17%	1%	0%	0%	1%
	むつみ	0%	0%	0%	0%	29%	0%	0%	1%
	須佐	0%	0%	0%	0%	0%	47%	3%	4%
	田万川	0%	0%	0%	0%	0%	11%	64%	7%
	山口市	0%	25%	2%	0%	12%	0%	0%	2%
	益田市	0%	0%	0%	0%	0%	32%	29%	5%
	その他	3%	1%	0%	2%	0%	2%	0%	2%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

買物でよく利用する地域（お店）



		居住地域							合計 n=2103
		萩 n=1298	旭 n=134	川上 n=62	福栄 n=134	むつみ n=115	須佐 n=187	田万川 n=173	
通院施設	萩	95%	45%	56%	79%	36%	15%	5%	72%
	旭	0%	9%	0%	0%	0%	0%	0%	1%
	川上	0%	1%	37%	0%	0%	0%	0%	1%
	福栄	0%	0%	0%	15%	0%	0%	0%	1%
	むつみ	0%	0%	0%	0%	36%	0%	0%	2%
	須佐	0%	0%	0%	0%	0%	45%	17%	6%
	田万川	0%	0%	0%	0%	0%	1%	12%	1%
	山口市	2%	44%	5%	4%	28%	1%	1%	6%
	益田市	0%	0%	0%	0%	0%	36%	63%	8%
	その他	2%	1%	2%	2%	1%	2%	2%	2%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

通院でよく利用する地域（病院）

# (1)住民アンケート調査(65歳以上)

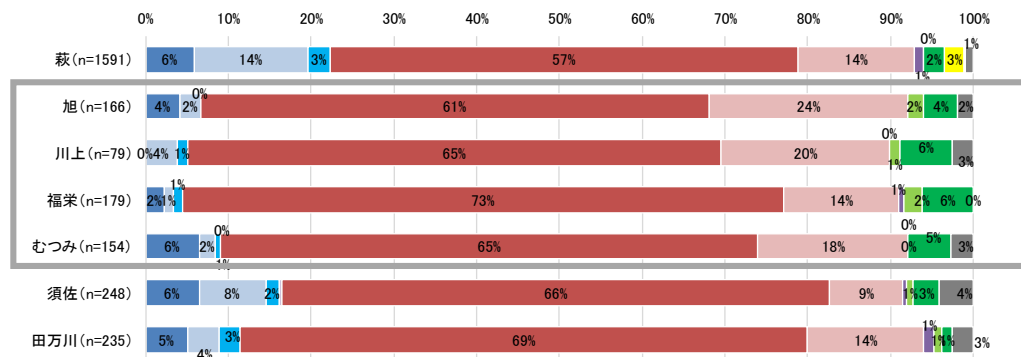
- 移動手段について、自家用車は6~7割、公共交通は1割程度となっている。
- 旭・川上・福栄・むつみ地域は、路線バスの割合が他地域と比較して高く、萩地域や山口市への幹線の利用が多い。
- 萩地域は、徒歩や自転車の割合が比較的高く、自宅周辺で買い物や通院をされている方が多い。
- 須佐・田万川地域は、域内は自家用車や徒歩・自転車で移動、益田市へは自家用車や公共交通で移動されていると思われる。田万川地域の通院は益田市の割合が高く、自家用車への依存度が特に高い。

買物施設	居住地域								
	萩 n=1600	旭 n=151	川上 n=62	福栄 n=157	むつみ n=133	須佐 n=224	田万川 n=225	合計 n=2552	
萩	97%	60%	94%	81%	59%	8%	4%	75%	
旭	0%	15%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	
川上	0%	0%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	
福栄	0%	0%	0%	17%	1%	0%	0%	1%	
むつみ	0%	0%	0%	0%	29%	0%	0%	1%	
須佐	0%	0%	0%	0%	0%	47%	3%	4%	
田万川	0%	0%	0%	0%	0%	11%	64%	7%	
山口市	0%	25%	2%	0%	12%	0%	0%	2%	
益田市	0%	0%	0%	0%	0%	32%	29%	5%	
その他	3%	1%	0%	2%	0%	2%	0%	2%	
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

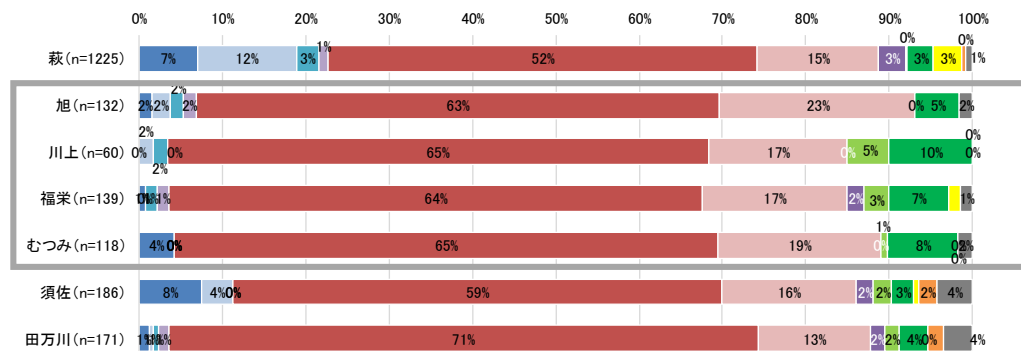
買物でよく利用する地域 (お店)

通院施設	居住地域								
	萩 n=1298	旭 n=134	川上 n=62	福栄 n=134	むつみ n=115	須佐 n=187	田万川 n=173	合計 n=2103	
萩	95%	45%	56%	79%	36%	15%	5%	72%	
旭	0%	9%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	
川上	0%	1%	37%	0%	0%	0%	0%	1%	
福栄	0%	0%	0%	15%	0%	0%	0%	1%	
むつみ	0%	0%	0%	0%	36%	0%	0%	2%	
須佐	0%	0%	0%	0%	0%	45%	17%	6%	
田万川	0%	0%	0%	0%	0%	1%	12%	1%	
山口市	2%	44%	5%	4%	28%	1%	1%	6%	
益田市	0%	0%	0%	0%	0%	36%	63%	8%	
その他	2%	1%	2%	2%	1%	2%	2%	2%	
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

通院でよく利用する地域 (病院)



買い物での交通手段



- 徒歩のみ
- 自転車
- 原付・バイク
- 施設の送迎バス
- 自家用車(自分で運転)
- 自家用車(家族が運転)
- タクシー
- ぐるっとバス
- 路線バス
- まあーるバス
- 鉄道
- その他

通院での交通手段



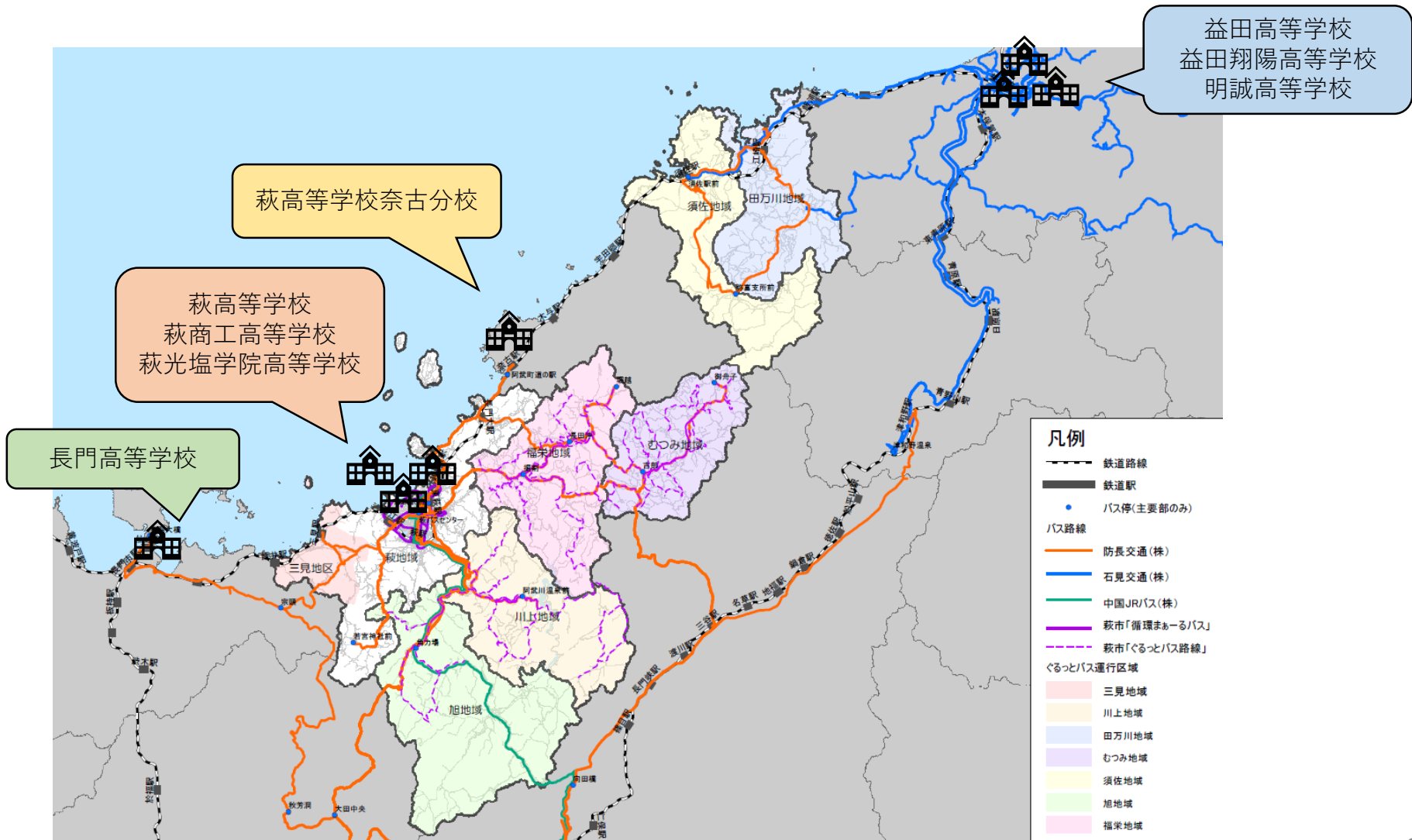
## (2) 民生委員アンケート調査

- 田万川地域は、「バス停や駅が遠い」が7割弱となっており、バス停や鉄道駅から遠くて困っている方が多いと考えられる。
- 萩地域の三見地区は、「バス停や駅が遠い」が7割弱となっており、平成28年度に新しくバス停が設置されたものの、利用しにくいと感じている可能性がある。
- 須佐・田万川地域は、他地域と比較して「バスや列車の使い方が分からない」という意見が多く、路線バスやぐるっとバスの運行が複雑なため理解されていない可能性がある。

地域・地区	バス停(乗り場)や駅が遠い	路線バスや列車が行きたいところへ行かない	運行ダイヤが利用しにくい	バス・列車の車両やバス停・駅が使いにくい	バスや列車の使い方が分からない
椿東地区 (n=20)	40%	40%	45%	35%	10%
椿地区 (n=6)	17%	33%	0%	17%	0%
大井地区 (n=4)	25%	50%	0%	25%	0%
川北地区 (n=16)	13%	25%	25%	13%	13%
川南地区 (n=16)	50%	25%	25%	25%	13%
山田地区 (n=9)	22%	22%	44%	22%	22%
三見地区 (n=6)	67%	50%	50%	33%	17%
萩地域 (n=77)	34%	32%	31%	25%	12%
旭地域 (n=8)	50%	25%	13%	25%	0%
川上地域 (n=6)	50%	33%	33%	67%	0%
福栄地域 (n=12)	50%	33%	50%	17%	0%
むつみ地域 (n=10)	30%	10%	30%	10%	10%
須佐地域 (n=17)	47%	41%	24%	24%	24%
田万川地域 (n=12)	67%	33%	50%	42%	25%
合計 (n=145)	41%	32%	32%	26%	12%

# (3)高校生アンケート調査

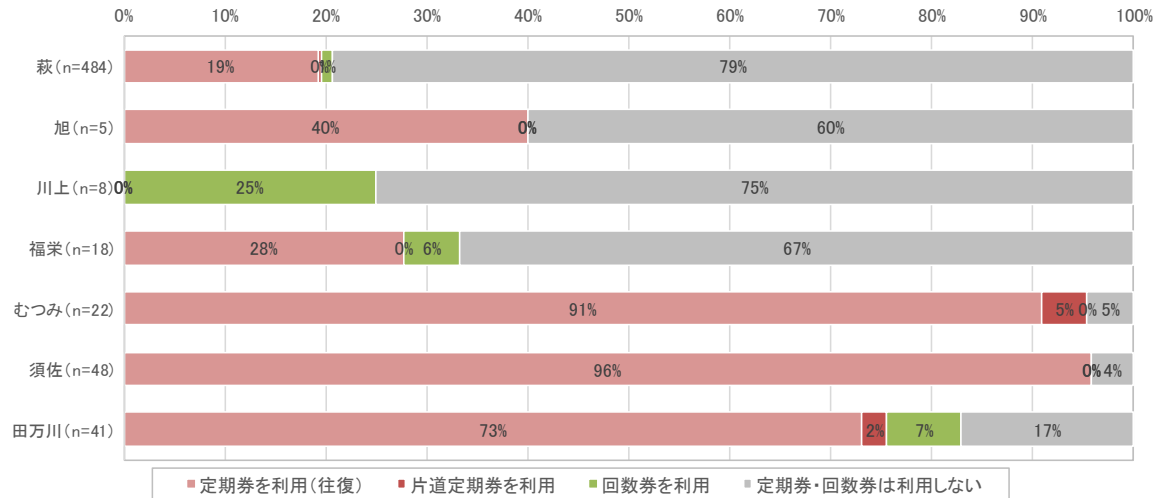
- 鉄道の沿線沿い、萩市内の3つの高校及び、長門高等学校、萩高等学校奈古分校、益田市内の3校が立地している。



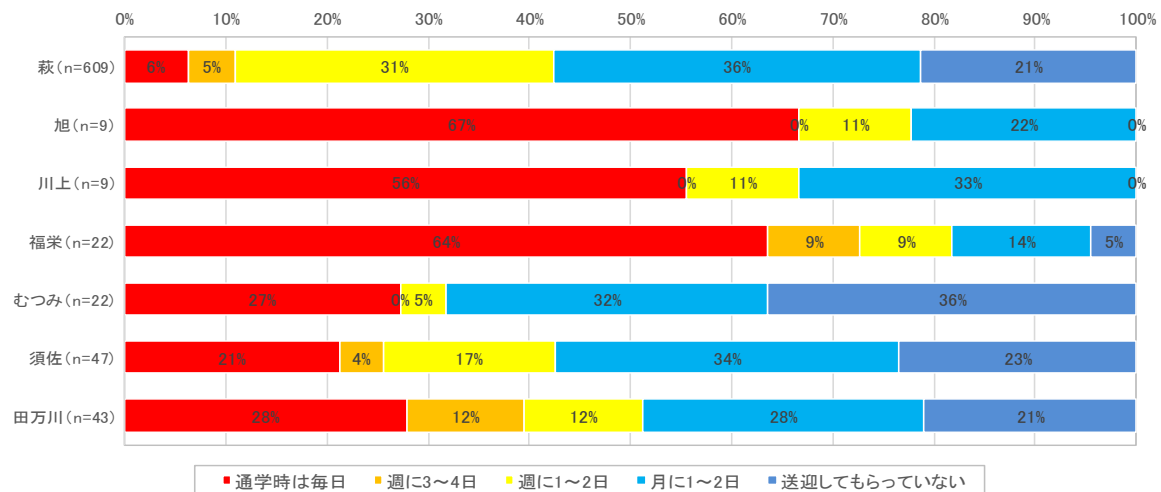
公共交通網と高校の位置図

# (3) 高校生アンケート調査

- むつみ・須佐・田万川地域は、公共交通の利用が多い（定期券利用の割合が高い）。
- 旭・川上・福栄地域は、「家族などによる送迎頻度」が高い。



定期券・回数券の有無

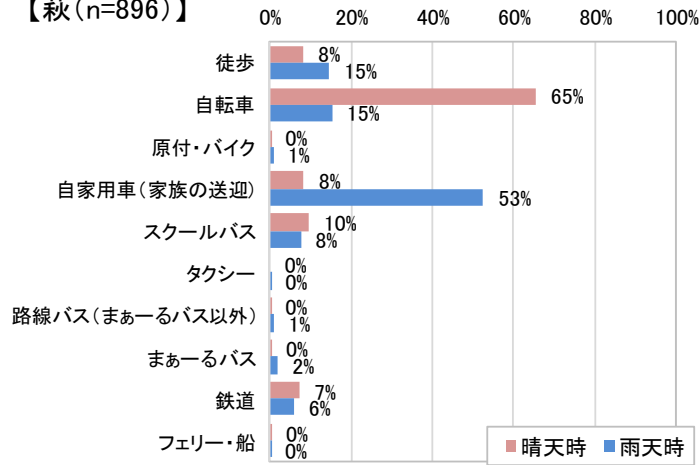


家族などによる送迎頻度

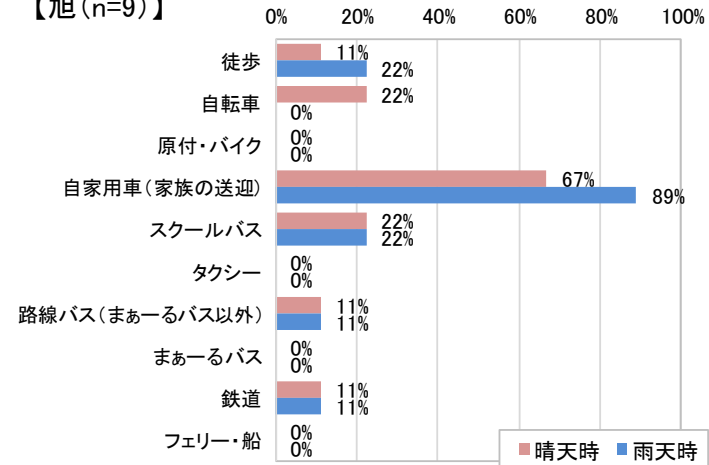
# (3)高校生アンケート調査

- 萩地域周辺の旭・川上・福栄地域は、家族の送迎や自転車の割合が高い。

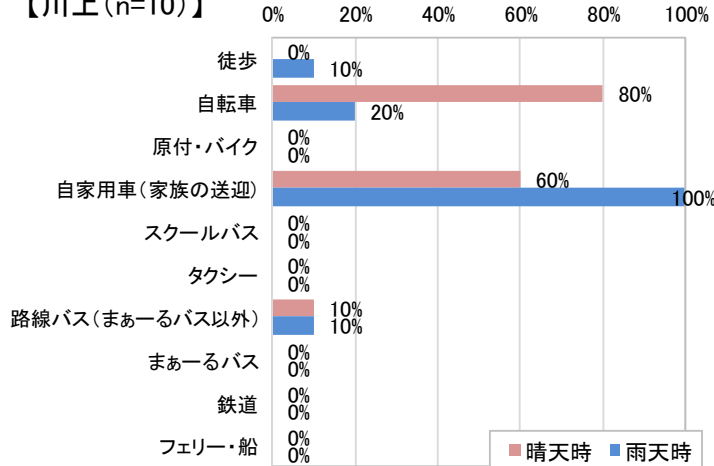
【萩(n=896)】



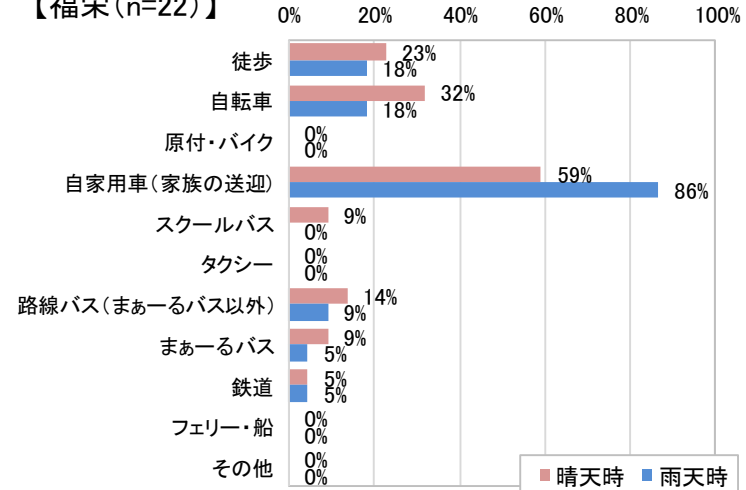
【旭(n=9)】



【川上(n=10)】



【福栄(n=22)】



# (3)高校生アンケート調査

- むつみ地域は路線バス、須佐・田万川地域は鉄道の利用が多い。これらの地域は高校への距離が遠く、公共交通により通学環境が成り立っているため、公共交通の維持・確保がより重要である。

